

# イントラネット応用広域監視情報集配信システム

坂下龍司\*  
 牧本健二\*  
 岩瀬正尚\*

## 要 旨

最近のイントラネットの急速な普及に伴い、広域監視制御分野においても、情報の共有化・オープン化・マルチメディア化が求められ、イントラネット技術を活用して広域監視情報を配信する広域監視情報集配信システムの導入が盛んになってきた。

従来は監視制御室の専用端末による監視制御を行っていたが、事務室や出張所等の事務用パソコン、自宅のパソコン、さらに現場におけるモバイル端末でも監視が実現できるシステムが求められている。また、従来のCCTVを用いた監視制御室での映像監視に加えて、水位や雨量などの監視データと画像を関連付けてマルチメディアを応用した監視も求められている。

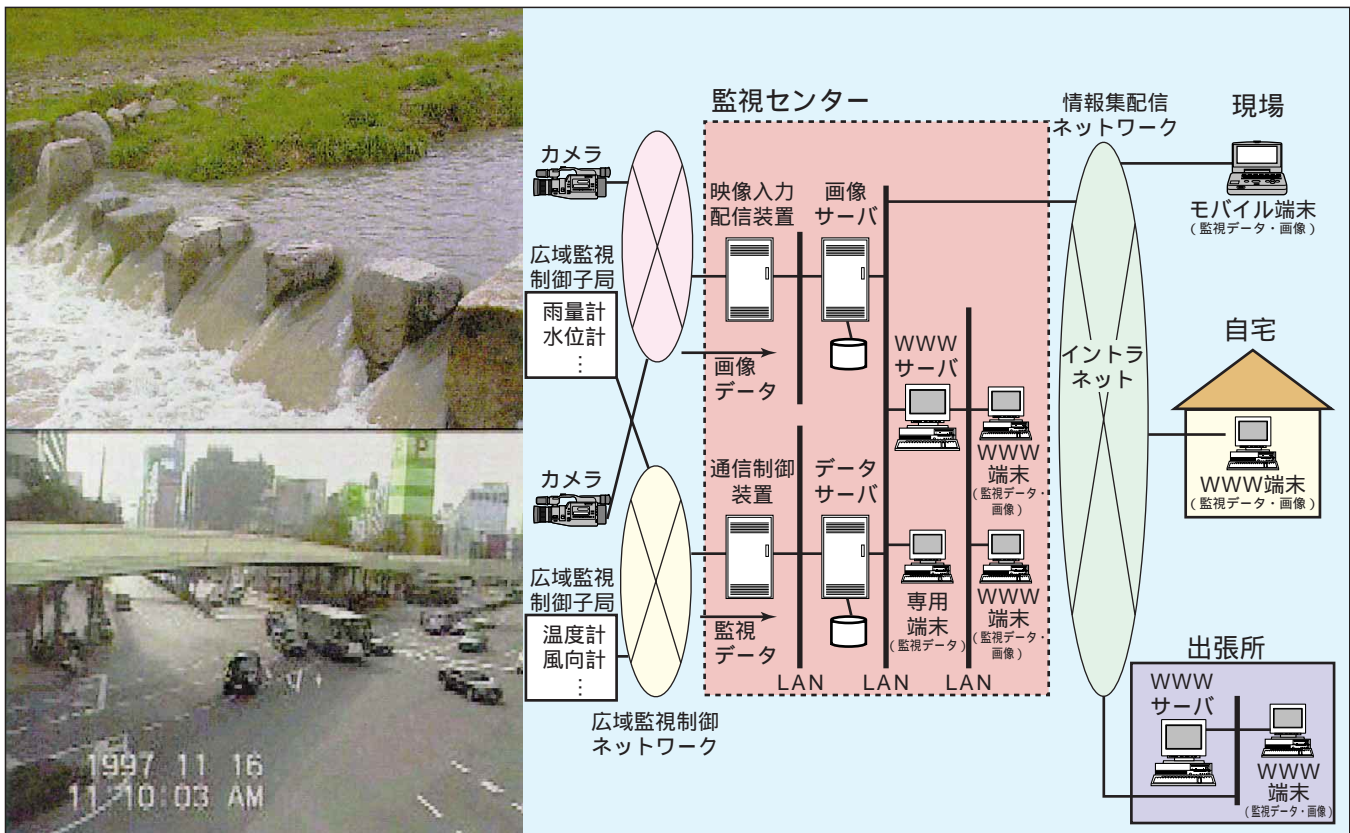
これらの要求に対応するため、急速に進歩しているイン

ターネットやマルチメディア等の最新の汎用技術を広域監視制御システムに応用したイントラネット応用広域監視情報集配信システムを開発した。

製品化を行うに当たっての課題には、

- (1) 汎用ハードウェアや汎用ソフトウェアを適用したシステムの高信頼性・高性能の確保
  - (2) 画像蓄積・再生とデータ・画像の融合
  - (3) 伝送データ量が多い画像の高速配信性能の確保
- があり、三菱電機は、これらの課題に対応した製品を開発し納入した。

本稿では、イントラネット応用広域監視情報集配信システムの動向と課題、開発システムの構成と特長、及び適用事例について紹介する。



## イントラネット応用広域監視情報集配信システム

従来のセンター集中監視の広域監視制御システムに対する高度化・多様化のニーズに対応するため、監視データに加えて現地カメラ映像を画像化して監視する機能を加え、さらに、イントラネット技術を活用して、事務所や出張所などの分散拠点や自宅における不特定多数の端末でのリアルタイム監視を可能としている。